



野登小学校
学校だより
2023.9.8
No.10

野登小学校 HP ↑

6年生は「全国学力・学習状況調査」、4、5年生は「みえスタディチェック」の学力調査を行いました。国語、算数、理科（5年生のみ）の3教科の調査があり、どの子ども真剣に取り組んでいました。すべての学年のすべての教科で全国平均（4・5年は県平均）を上回る成果がありました。6年生の児童質問紙の回答によると、生活習慣の定着が見られ、地域行事への参加意欲も高い傾向が見られました。また、調査結果から次のような強みと弱みがわかりました。

強み

野登小の学力の強みと弱み

（数値は、6年は全国平均と4、5年は県平均との比較です）

- （国語） ・敬語を理解している【6年+42.4】 常体から敬体に書き直す。【5年+16.6】
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。【6年+29.7】
 - ・中心となる語や文を見つけて要約する。【6年+10】
 - ・目的に応じて、文章や図表を結び付け、必要な情報を見つける。【6年+18.3】
 - ・手紙の後付けの書き方を理解している。【5年+29.5】
 - ・漢字を正しく書く。【4年+10.9】
 - ・登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える。【5年+10】
 - ・文の主語を選択する。【4年+12】
- （算数） ・比例関係を理解している。【6年+28】
- ・百分率で表された割合について理解している。【6年+11.1】
 - ・図形の意味や性質について理解する。【6年+9.4】
 - ・二次元表を読み取り、説明したり、棒グラフと関連付けたりする。【5年+22.4】
 - ・長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を説明できる。【5年+15.5】
 - ・四捨五入して千の位までの概数に表す。【5年+18.5】
 - ・正しく計算する【4年+7.4 5年+0.9】
 - ・等分した長さを分数で表す。【4年+18.1】
 - ・二等辺三角形の定義や性質を理解している。【4年+13.2】
- （理科） ・冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選択する。【5年+15.1】
- ・昆虫の特徴を示した資料から複数の視点で分析し選択する。【5年+20】
 - ・水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解する。【5年+13.4】
 - ・乾電池2個のつなぎ方によって流れる電流の大きさに違いがあることを理解する。【5年+12.4】

どの学年もねばり強く問題に取り組む姿勢が見られます。
（無回答率が低い）

苦手とする分野や単元があるので、繰り返し学習をして定着を図る必要があります。

弱み

- （国語） ・情報と情報の関係を理解し選択する【6年-7.6】
- ・条件に合わせ、自分の考えを書く。【6年-12.4 4年-5.2】
 - ・正しく漢字を書く。【6年-11.1（意外） 5年-8.6（全く）】 *（ ）内は誤答した漢字
 - ・述語に対応する主語を選択する。【5年-21.4】
 - ・指示語が示す内容を選択する。【4年-19.7】
 - ・理由が書かれている段落を選択する。【4年-8.3】
 - ・文章が書かれている順に内容を並べ替える。【4年-8.6】
- （算数） ・表から変化の特徴を読み取り、知りたい数を求める【6年-7.8】
- ・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係をもとに面積の大小を判断しその理由を書く。【6年-20.8】
 - ・2位数÷1位数の筆算について、図を基に各段階の商の意味を考える。【6年-19】
 - ・割り算の式で、求められる問題を選択する。【4年-17.7】
- （理科） ・実験結果を基に閉じ込められた空気の体積変化と押し返す力の変化の関係を考察できる。【5年-15.9】
- ・方位磁針の適切な使い方を選択する。【5年-5.5】
 - ・サクラの開花時期をデータをもとに分析する【5年-10】
 - ・検流計の正しい使い方を選択する。【5年-9.4】
 - ・観察で得た結果を分析し、自分の考えをもつ。【5年-10.1】



児童質問紙調査結果（6年）より *全国平均と比較して特に顕著な傾向がある質問項目をあげました。○は強み、●は弱みです。

○朝食を食べていますか。 ○毎日、同じくらいの時刻に寝て起きていますか。 ○先生はわかるまで教えてくれますか。 ○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 ○いじめはどんな理由があってもいけないと思いますか。 ○学校に行くのは楽しいですか。 ○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。 ○読書が好きですか。 ○自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか。 ○地域の行事に進んで参加しますか。 ○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。 ○5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。 ○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。

●学校の授業時間以外に ICT 機器を勉強のために使っていますか。 ●新聞を読んでいますか。

今後の取り組み

☆言語活動の充実

- ・ペアやグループ学習を取り入れ、対話のある授業づくりを行う。
- ・理由や根拠をはっきりさせて、自分の考えが書けるように指導する。（ふり返りの充実）
- ・文章、図表、グラフなどから「読む・読み取る」活動を増やす。
- ・数字や言葉、式を使って記述したり、条件に合わせてまとめたりする機会を増やす。

☆補充学習や自主学習の充実

- ・のびのびタイムや宿題を活用し、基礎基本の力を繰り返しつける。
- ・自主学習ノートの取り組みを継続し、主体的に学ぶ姿勢を育てる。

☆基礎学力の定着を図る

- ・1人1台端末の効果的な活用（e ライブラリなど）を図り、苦手な分野の復習に取り組む。
- ・読書指導にも引き続き努め、読み聞かせも継続して行う。

☆自己肯定感を高める取り組みをすすめ、土台となる『安心して学べる環境づくり』に努める。

- ・学校行事や学級活動、児童会活動などを通して、達成感をもたせ自己有用感を育む。
- ・PTA 活動とも連携して、「将来の夢」に関する児童参加型の教育懇談会を開催する。

ご家庭でもお子さんの学習の様子を見守っていただき、毎日の学習習慣の定着に向けてご協力ください。

*「お茶の間10選」 10/14～10/20



☆各教科の指導において

【国語】児童の文章に主語述語のズレがあれば、個別に丁寧に指導する。朝の学習や補充学習で、「わかる・できる育成カリキュラム読む力伝える力編」やe ライブラリを活用して文法の学習に取り組む。読むことの学習で、指示語が何を示すのか確認しながら、文章の大体をつかめるように指導する。読書感想文や国語科確認テストの指導や児童自身の推敲を通して、表現方法を身に付けさせる。

【算数】図形の定義や性質と名前が一致するように視覚的に指導する。複数の図形を同時に取り扱う複合的な問題に取り組む。音読の機会を増やしたり、単語や句読点で句切って音読させたりして、文意を理解できるように指導する。文章問題を解く時は、数の関係性を図に表すことを習慣化し、問題の理解度や解決力を高めさせる。

【理科】補充学習の時間に、「学 viva」セットなどを活用し、複数データから分析・考察する課題に取り組ませる。観察や実験の結果をまとめたり、自分の言葉で説明したりする機会を増やす。電気の単元では、板書に回路図を表したり、ノートに児童が回路図を書いたりする機会を増やす。